

いわで 議会だより

2016.12

42



「びよんびよん亭うさぎ」ちゃん

「第11回子ども落語大会」

優勝おめでとうございます

Contents

- 2 定例会議決結果
 - 3 一般質問
 - 10 全議員研修
 - 11 フォトギャラリー
 - 12 特集・ボランティア紹介
- 本会議開催予定日

岩出市議会ホームページ
<https://www.city.iwade.lg.jp/gikai/index.html>
※携帯電話・スマートフォンなどの
バーコードリーダーで読み取ると
議会ホームページにアクセスでき
ます。



QRコード

一般質問

7名の議員が市政を問う

* 質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
* 内容等については、質問者にお問い合わせください。

宮本要代 議員 4頁

- ◎ 熱中症対策について
- ◎ 大宮緑地総合運動公園に植樹を
- ◎ 第11回岩出マラソン大会について
- ◎ 乳がん早期発見について

玉田隆紀 議員 5頁

- ◎ 市民の安心安全を見守る那賀消防本部の取り組みについて
- ◎ 被災者支援システムについて

増田浩二 議員 6頁

- ◎ 国民健康保険制度の改善について
- ◎ 国保の広域化について
- ◎ 医療体制の充実について

市來利恵 議員 7頁

- ◎ 中芝市長の政治姿勢を問う（財政について）
- ◎ 新中学校建設における市長の政治姿勢を問う
- ◎ 子ども医療費助成制度の市長の政治姿勢を問う
- ◎ ごみの減量化について市長の考えを問う

田畑昭二 議員 8頁

- ◎ 水道事業について
- ◎ ゴミの不法投棄について
- ◎ 街路灯について

吉本勸曜 議員 9頁

- ◎ 市長選挙について

※松下元議員も一般質問を行いましたが、本人の申し出により掲載を辞退しております。

◇一般質問項目の事前公表

一般質問における質問者・項目については、事前に岩出市議会ウェブサイトで公表しています。ぜひ、ご覧ください。



宮本 要代 議員
(公明党議員団)

10月はピンクリボン月間で、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診で早期発見を推進することなどを目的として、世界規模で啓発キャンペーンが行われる。

一ヶ月に一度の自己触診と、一年に一度の定期検診が乳がんの早期発見につながる。

質問
自己触診は素手で行うが、素手で触るより感度が高く、異常が発見しやすいと期待される乳がんグローブの推奨を。

乳がん検診で

早期発見・治療を

答 弁 生活福祉部長

一つの企業の製品を推奨することはできないが、がん対策推進企業等連携協定を結んでいる企業に、情報提供することは可能である。

質問

大宮緑地総合運動公園に植樹を。

答 弁 教育部長

国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所船戸出張所に確認し、国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所が定めている計画降水量よりも土地が低い位置にあり、緑化の申請を行っても厳しい制約があるため、木を植えることはできない。
また、水流を妨げるおそれのある当該施設の緑化の考えは現時点ではない。

質問

第11回岩出マラソン大会にトップアスリートの招待を。

答 弁 教育部長

岩出マラソン大会は、毎年3月の第2日曜日に開催。

参加申し込みは、例年3,000名以上あり、県外からも多くの方が参加される。

岩出市を広くPRする絶好の機会と捉え、参加してよかったと思っていただけのような大会運営に努めている。

以前より北京オリンピック陸上男子400メートルリレー銅メダリストの朝原宣治氏が主宰するノビール・トラックアンド



ファイールド・クラブより、
・一般15km、一般5kmの参加者にTシャツ
・18種目の1位から3位の方々にフェイスタオルの提供をいただいている。
マラソン大会は実行委員会形式で開催している。10周年大会にふさわしい内容になるよう、実行委員会で検討していただく。

他にも「熱中症対策に効果があるミストシャワーの導入を」質問しました。





玉田 隆紀 議員
(公明党議員団)

救急時に備えて

那賀消防の取り組みについて

質問

①緊急出動の現状と今後の課題は。

②職員体制について。

答 井 総務部長

①緊急出動の現状

平成27年度

岩出市・紀の川市合計

・火災出動 24件

・救急出動 5,032件

・救助出動 102件

今後の課題について、組織内における知識・技術の伝承を推進し、活動能力の維持向上を図り、現場活動体制の充実と消防事務を円滑に、かつ確実にやっていくことが課題です。

②職員体制は現在

・消防長 1名

・次長 1名

・総務課 7名

・予防課 6名

・警防課 5名

・防災センター 2名

・通信指令課 4名

・中消防署 38名

・東消防署 26名

被災者支援システムについて

質問

①被災者支援システムの現状と研究結果について。

②被災者支援システム導入の考えについて。

答 井 総務部長

①②一括しての答弁。

このシステムは、住民基本台帳のデータをもとに被災者台帳を作成し、迅速に罹災証明の発行ができるなど有意義であることは十分認識してまいります。

- ・南消防署 26名
 - ・和歌山広域消防指令センター 6名
 - ・和歌山県防災航空隊 1名
 - ・県消防学校初任教育 6名
- 合計129名体制となっております。

質問

①定員130名に至っていない現状の考えは。

答 井 総務部長

①現在の体制で問題はないうと聞いていますが、今回の質問を那賀消防組合にお伝えします。



また、平成23年当時の導入自治体は300程度であったものが、現在900自治体を超える普及状況となっていることから、その有効性は実証されているものと考えています。当市においては、その点も踏まえて、被災者支援システムの導入について検討を続けていたところ、新たに京都大学や新潟大学、その他研究チームが過去の大災害の研究成果をもとに、より進ん



だ被災者生活再建支援システムを開発し、製品化されました。

このことから、被災者支援システムに限定するのではなく、他のシステムの機能や作業効率などを比較し、費用対効果も含め総合的に勘案した上で、最も有効なシステムを導入を行う必要があり、さらに研究をまいります。

那賀病院の 医療体制充実を



増田 浩二 議員
(日本共産党議員団)

質問

① 地域医療を充実させる上では、那賀地域の中核を担う那賀病院の充実が欠かせません。医師の確保が求められています。現在、眼科の面では、非常勤の医師が週3回勤務で、那賀病院では機器があっても目の手術ができない体制になっています。現状改善へより一層の取り組みを。

② 医師の確保という点では、和歌山県の医師確保修学資金等貸与制度と併



せて那賀病院独自の奨学金制度を設けて対応することは可能ではないかと考えます。副管理者の市長として一部事務組合で検討してはどうか。

答 井 市長・生活福祉部長

① 那賀病院は、医療を通じて地域住民の福祉・健康に寄与しており、岩出選出の組合議員、管理者の紀の川市長等と連絡を密にしながら、地域住民から信頼される病院をめざしていきたい。

国民健康保険制度改善を

質問

① 国民健康保険制度についての歴史的認識と国庫負担削減に対して、自治体として果たさなければならぬ面を市長としてどう認識しているのか。

② 所得200万円までで84.5%を占めています。所得100万円、200万円での協会健保と国保のモデル比較額は。

③ 収入未済額が3億円を

① 眼科については、院長・事務局長が県立医大を再三訪問し、派遣について上申しています。

医局の人員体制が整えば、常勤医師を那賀病院に派遣することは可能と回答を得ています。

② 医師確保の修学金制度は、看護師及び助産師確保の奨学金制度、看護職員奨学金制度を設けており、今後、一部事務組合でさまざまな施策が検討されると考えています。

超えて、不納欠損額では1億円を超す年度さえ生まれてきています。社会保障制度の観点から国保を引き下げるため、一般会計からの繰り入れを。

答 井 市長・生活福祉部長

① 国民健康保険は、社会保障制度の一つであると認識している。

② 夫婦2人、子ども2人、固定資産税が5万円のケース。所得100万円を協会



公立那賀病院

健保、月額8,222円。
国保、月額15,042円。
所得200万円では、協会健保、月額15,054円。
国保、月額27,567円です。

③ 社会保障の実施義務は、国が負つことを念頭に置いておくことが肝要。

税の公平性の観点から、一般会計から繰り入れを行う考えはありません。

市長の政治姿勢を問う

財政について

質問

この4年間、財源を過度に基金に貯め込んだり、繰上げ償還にまわすなどを行い、市民要求に応える財源があっても要求に背を向けてきたのではないか。財政面の評価、考えは。

答 井 市長

健全財政を堅持していることが、市民に対する私の責任と認識している。



市来 利恵 議員
(日本共産党議員団)



中学校建設

行政各分野のバランスを考えたまちづくりが重要であると考えている。

平成9年から、住民の声を聞く町政懇談会を開始している。

子どもを取り巻く環境が時代の変化とともに現れ、子どもの貧困、いじめ、不登校問題、学力問題など、きめ細やかな施策とともに、学校施設を本腰入れて解決しなければ、現場だけの力では十分に対応できない。

質問

子どもたち一人一人が大事にされ、行き届いた教育をすることは、未来を担う子どもの成長のためには、学校建設は必要です。市長の見解は。

答 井 教育長

多くの生徒や教員とふれあう中で、生徒が互いに切磋琢磨できること、生徒の希望や個性を生かした部活動が開設できたり、大規模校ならではの

利点を生かしていきたい。現時点での新中学校の建設予定はありません。

答 井 市長

今後も教育委員会との連携を強化しながら、教育の充実、発展に努めていく。

子ども医療費

子ども医療費に対し調査をしたところ、窓口負担無料にしてほしいと答えた方が多い結果が出ました。近隣市町村では、制度をさらに進めているため、岩出市でも制度の拡充を求める声は一層強くなります。国の実施を待っていても地域間格差は広がり、格差を容認するような市の態度は納得できないものです。

質問

今こそ子育てする家庭を応援する手立てをしつかり行つべきです。無料化の考えは。

答 井 市長

保険者や子どもを取り巻く方々に、普段から子



どもの事故やけが、疾病の予防に細心の注意、配慮、関心を持っていただくことが大切であり、一部自己負担をお願いしている。

質問

無料であっても、自己負担があっても、常に保護者は、子どもを守り注意を払っています。無料をしない理由にはなりません。決断をするべきではないか。

答 井 市長

先ほどお答えしたとおりです。



田畑 昭二 議員
(公明党議員団)

水道管の老朽化と耐震化率は

質問

・当市の水道管の老朽化の現状はどのようになっているか。
・水道管の耐震性の現状はどのようになっているか。
・今後の水道の安定供給の重点施策と対策は。

現在、耐震化を進めている

答 井 上下水道局長

老朽管の現状は、平成27年度末の水道管の延長は約37.1 kmで、その内、耐用年数40年を超えた老朽管は約25.4 kmで、老朽化の割合は6.8%です。
水道管の耐震性の現状は、耐震化した延長は約

水道管の耐震化と安定供給を

125.4 kmで、耐震化率は33.6%です。

今年度から第三浄水場を供用開始し、水源の複数化を図り、既存施設の長寿命化や投資の平準化により、財政面の軽減に努め、安定供給を図る。



第三浄水場

ごみの不法投棄対策について

質問

・岩出公民館敷地内に、夜間にごみが不法投棄されているが、その対策はどのようにしているか。
・監視カメラの設置なども効果があると思われるが、設置の考えは。

不法投棄監視カメラを設置する

答 井 生活福祉部長

岩出地区公民館の敷地内は、地域の資源ごみ置場となっており、粗大ごみなどの不適正なごみがたびたび排出されている。これまで、日常のパトロールのほか、看板の設置や周辺自治会への回覧等の対策を講じ、今年度

街路灯の点灯時間を変え、節電を

質問

・岩出駅前通りの商店街街路灯は感じが良く、皆様に好かれているが、点灯時間が明るい時間帯の時から点灯されており、もう少し節電を考えてはどうか。
・点灯のしくみはどうなっているのか。

日没・日の出の時間帯に合わせて点灯

答 井 事業部長

通常の点灯方法は、暗くなれば点灯、明るくなれば消灯となる照度センサーにより、自動で行っているが、本路線は、沿線建物の明かりに反応し、照度センサーが誤作動することから、年4回点灯時間を手動で変更し、タイムマーで点灯している。
現在は、防犯上、より安全を期して早目に点灯しているが、節電も勘案し、日没・日の出の時間帯に合わせて、今後、検討する。



駅前商店街の街路灯



吉本 勲 議員
(ネット岩出)

まちづくりに 終着点はない

今後のまちづくりは

質問

まちづくりにには終着点はありません。次から次へと課題が発生してきます。市行政は、的確に伝えていくことが求められます。

市長として、今後どのような考えで、どのようなまちづくりを進めていくとするのか、具体的な方針をお聞きます。

基礎となるのは職員

答 弁 市長

今後のまちづくりにおける考え方としては、やはり基礎となるのは職員であります。

私が市長であるところから言うと、岩出というまちには半永久的に続いていくわけです。

市にふさわしい職員の資質向上は、終着点のない永遠の課題であると思います。



市民の皆様方や地域との対話と協調を基本理念として、まちの将来像と位置付けています「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現をめざしていくこととなります。

災害に強いまちづくり

東日本大震災や熊本大地震の発生にみられるように、巨大地震が、いつどこで起こっても不思議ではありません。南海トラフや中央構造線を震源とする地震の脅威を抱える本市において、災害に強いまちづくりは、喫緊の課題であり、自主防災組織の全地域での組織化をめざします。

台風や集中豪雨による浸水被害が発生していることから、浸水被害の軽減、解消を、国、県などの関係機関と連携し取り組んでいきます。

財源の確保と健全財政

確かな財源の確保と、健全財政の堅持を基盤として、行政各分野のバランスを考えたまちづくりが、行政を進めるうえで重要であると考えます。



一人でするものではない

行政は私一人でするものではありません。

職員それぞれの能力とチームワークを磨き、市民の皆様と協働をどこまで達成できるか、まちづくりの基本は、そこにあると考えます。

行政課題は山積みしており、ぶれることなく、岩出市のすばらしい未来へのまちづくりに取り組んでいきます。

鳥取県中部地震により被害に遭われた皆様方には、心からお見舞いを申し上げます。

一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

視察レポート

10月26日、和歌山県防災センターにおいて、和歌山県の防災・減災対策（熊本地震の教訓）について説明を受けました。



現在、岩出市で想定される大きな地震は、次のとおりです。

◎地震被害想定

(H26年10月公表)

○南海トラフ巨大地震 (M9.1)で震度6弱～6強

○東海・東南海・南海3連動地震(M8.7)で震度5弱～5強

○中央構造線の地震で震度6強～7

地震が発生した場合、市民の自助・共助活動の意識の向上への取り組みへの支援策は何か必要か。公助の取り組み、対策、備えは万全かどうか。和歌山県では、熊本地震を通して、次のとおり取り組んでいます。

説明概要

○建物の倒壊による犠牲者ゼロの推進
・耐震診断、耐震改修の促進



・耐震ベッド、耐震シエルトの設置
・家具固定の促進
○避難路の確保
○生活必需品等の備蓄
○避難所運営関係者との連携
・平時から顔の見える関係作りが必要
・訓練を通じて平時から情報共有、共通認識を持つ
○避難先の見直し、安全レベルの設定

尾和弘一議員が平成28年9月25日に岩出市長選挙の立候補の届け出を行ったことに伴い、公職選挙法第90条の規定により、同日付けで議員を失職しました。

(在職期間)

平成25年2月15日
～平成28年9月25日

(常任委員会)

建設常任委員会委員

決算審査特別委員会の審査

平成27年度一般会計等の決算を審査するため、平成28年10月11日から10月17日まで開催しました。委員は次のとおりです。

決算審査特別委員会委員 (8月29日選任)

- | | | |
|------|-------|------------|
| 委員長 | 福山 晴美 | (岩出クラブ) |
| 副委員長 | 市來 利恵 | (日本共産党議員団) |
| 委員 | 宮本 要代 | (公明党議員団) |
| 委員 | 田中 宏幸 | (ネット岩出) |
| 委員 | 西野 豊 | (岩出クラブ) |
| 委員 | 松下 元 | (郁青青クラブ) |
| 委員 | 田畑 昭二 | (公明党議員団) |
| 委員 | 吉本 勸曜 | (ネット岩出) |



市民運動会



平成18年4月1日、多くの市民の皆様の願いであった市制施行が実現しました。全国で802番目、県で9番目の市として岩出市が誕生しました。
今年で、岩出市誕生10周年を迎え、この記念すべき節目の年に、趣向を凝らした市民運動会・文化祭が開催されました。

文化祭





ボランティアを紹介します

ふれあい給食ボランティア の皆様いつもありがとう



ふれあい給食サービスは、高齢等の理由により調理が困難な方に食事をお届けする活動です。「食」は健康を維持するために大切な役割を果たしています。高齢者の場合、ちょっとした病気や、体調不良でも食事の用意が困難になります。そうした家庭に月3回夕食時に手作りのお弁当を届け、言葉を交わしながら手渡しています。



利用者とのふれあいを深め、孤独感の緩和や安否確認等にも大きな役割を果たしています。このお弁当は、季節感や旬な素材に配慮してボランティアが丹精こめてつくっています。平成27年度年間実施回数は35回、2,226食を提供しています。現在、ボランティアは154名です。興味のある方は、社会福祉協議会までご連絡ください。

発行／岩出市議会
〒649-6002 和歌山県岩出市西野209番地

編集／議会広報常任委員会
0739-01-0077 Email: gikai@city.iwade.lg.jp

11月28日(月)	行政報告・議案説明
12月 2日(金)	質疑・委員会付託
13日(火)	討論・採決
15日(木)	一般質問
16日(金)	一般質問

第4回定例会(12月)の本会議開催予定日は次のとおりです。ぜひ、傍聴にお越しください。



議会広報常任委員会

(委員長) 田畑 昭二 (副委員長) 市來 利恵
(委員) 宮本 要代 梅田 哲也 三栖慎太郎 吉本 勸曜 福山 晴美

「いわで議会だより」に関する アンケートにご協力ください!

キリトリ



「いわで議会だより」をわかりやすく親しみやすい紙面づくりの
ために、アンケートを実施します。
皆様の率直なご意見をぜひお寄せください。

山折り

料金受取人払郵便

岩出局承認

1063

差出有効期間
平成29年2月
28日まで
(切手不要)

岩出市西野209番地

岩出市議会広報常任委員会
行



のりしろ
山折り

6496290

山折り

のりしろ

のりしろ
山折り

「いわで議会だより」に関するアンケートのお願い

該当する番号を○で囲むか、もしくは記述してください。

問1 あなたの性別、年齢を教えてください。

・性別 ①男性 ②女性

・年齢 ①20歳未満 ②20代～30代 ③40代～50代 ④60代～70代 ⑤80歳以上

問2 「いわで議会だより」の紙面の見やすさはいかがですか？

①見やすい ②見づらい ③その他（ ）

問3 「いわで議会だより」の情報量はいかがですか？

①多い ②ちょうど良い ③少ない ④その他（ ）

問4 「いわで議会だより」にはあなたの知りたい情報が掲載されていますか？

①掲載されている ②掲載されていない（要望： ）

問5 一般質問の字数はどのように思いますか？

①多い ②ちょうど良い ③少ない ④その他（ ）

問6 市ウェブサイト又は議会ウェブサイトをご覧いただいたことがありますか？

①よく見る ②時々見る ③見たことがない ④その他（ ）

問7 議会だよりへのご意見ご感想などをご自由にご記入ください。

[]

ご記入ありがとうございました。

※回答いただいた内容は、議会だよりの充実のためにのみ利用し、それ以外では利用いたしません。

アンケートは、次のいずれかの方法で平成28年12月末日までに提出いただきますようお願いいたします。

（郵送）線に沿って切り取り、封筒にしてお近くのポストへ投かんしてください。（切手不要）

（FAX）0736-61-6946 議会事務局 直通